

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社ティップネス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		84%
達成率		105%

利用状況(第1体育場)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.6%	97.6%	2.0%

利用状況(第2体育場)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況(多目的1)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況(多目的2・会議室)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況(多目的3・会議室)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	18,439,262	8,480,000	10,009,262	精算金/空調工事関連・休館補填
	計画	8,430,000	8,480,000		
利用料金収入	実績	1,859,600	2,260,540	-810,400	空調工事休館12月～3月
	計画	2,670,000	2,670,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	10,256,952	10,950,538	2,366,952	教室事業拡張に伴う増収
	計画	7,890,000	7,840,000		
合計	実績	30,555,814	21,691,078	11,565,814	
	計画	18,990,000	18,990,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	9,703,359	11,330,783	2,223,359	最低時給変更と人員配置適正化
	計画	7,480,000	7,480,000		
物件費	実績	13,585,542	4,085,093	7,495,542	空調工事関連 水道電力料支払い開始
	計画	6,090,000	4,071,290		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	10,387,108	10,589,287	4,967,108	教室拡張に伴う経費増 工事休館中講師料補填
	計画	5,420,000	7,438,710		
合計	実績	33,676,009	26,005,163	14,686,009	
	計画	18,990,000	18,990,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	105.0%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品や備品購入の際は、相見積で経費削減 ・ まとめて発注で送料削減 ・ 水光熱の使用量コントロール ・ 外気温や湿度に応じて体育場空調を調整（冷やしすぎ防止） ・ 未使用居室（更衣室）の照明・空調オフ（こまめに対応） ・ 空調工事にともない、ロビー周辺のリフレッシュを従業員のDIYで実施し経費を節約 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・ 従業員からご利用者の方々への積極的なお声かけを行い、従業員間で共有して運営に反映する。
- ・ 社内作成の利用者満足度調査アンケートを実施し、ご要望などを運営に反映した。
- ・ 臨時休館時に徹底的に清掃を実施し、タイルの目地埋めなど清潔感を持ってもらえるように注力した。

6 外部専門家意見

空調工事による休館期間が影響し、利用料金収入は、計画のみならず、前年度よりも減収になっている。その一方で、自主事業収入が昨年度よりも若干、減収になっているものの、計画を大幅に上回っている状況を踏まえれば、年間の3分の1を休館にしても利用料金収入を大幅に上回る収益を確保できるということは、民間事業者が施設経営を執り行っていることの醍醐味だといえる。このようなノウハウを十分発揮した上で、フル稼働となる次年度は、大幅の利用者数の増員、利用料金収入の増収、人件費に見合う自主事業を展開することによって、魅力的な施設経営をより一層、図ってみたい。とりわけ、「開放DAY」などを活用した住民への認知度や施設料へのハードルを下げ、より多くの地域住民に愛される施設運営を施してもらいたい。同時に、施設の経年劣化によるトイレの苦情や要望にも対応しながら、現状の利用者満足度を基準に据えて、利用者満足度のさらなる向上に努めてもらいたい。来期以降も大規模な修繕を予定している場合は、それらを含めた計画の見直し等を行う必要があると考えられる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社ティップネス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		88%
達成率		110%

利用状況(第1体育場)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	96.9%	94.5%	2.4%

利用状況(第2体育場)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.1%	95.3%	1.8%

利用状況(多目的1)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	85.1%	84.8%	0.3%

利用状況(多目的2)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	86.8%	81.5%	5.3%

利用状況(多目的3)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	91.9%	90.4%	1.5%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	10,704,000	10,804,000	0	
	計画	10,704,000	10,804,000		
利用料金収入	実績	13,866,370	11,113,110	-276,720	
	計画	14,143,090	14,143,090		
その他収入 (自主事業収入)	実績	27,675,684	16,716,563	14,591,378	教室事業好調
	計画	13,084,306	12,984,306		
合計	実績	52,246,054	38,633,673	14,314,658	
	計画	37,931,396	37,931,396		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	13,799,596	14,168,102	3,838,636	最低時給変更と人員配置適正化
	計画	9,960,960	9,960,960		
物件費	実績	16,960,348	9,075,418	-2,129,869	清掃業務内製化
	計画	19,120,437	16,136,206		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	21,697,250	16,292,071	12,817,030	教室好調に伴う経費増
	計画	8,850,000	11,834,231		
合計	実績	52,457,194	39,535,591	14,525,797	
	計画	37,931,397	37,931,397		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	110.0%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な修繕は従業員で実施 ・水光熱費の使用量コントロール（使用しない居室は都度消灯） ・販売促進用のチラシ 会員証等、従業員で作成 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・従業員からご利用者の方々への積極的なお声がけを行い、従業員間で共有して運営に反映する。 ・社内作成の利用者満足度調査アンケートを実施し、ご要望などを運営に反映した。 ・コロナ期間、衛生面も考慮しゴミ箱設置場所を1箇所にとまとめ、美観づくりに徹底した。 ・積極的に利用者さまの意見・要望等可能な範囲対応することができた。 ・教室講師・従業員との連携体制により認知度向上の結果 キャンセル待ち教室が増加した。(2教室)
--

6 外部専門家意見

<p>施設の稼働率がいずれも前年度を上回っているものの、利用料金収入は計画を下回っているため、市民の日常生活が戻った現在、次年度は、計画を上回る実績を上げてもらいたい。清掃業務の内製化によって物件費の削減を図っている点も評価でき、民間事業者が施設経営を執り行う有効性を発揮した結果がうかがえる。また自主事業収入が計画、さらには、前年度の実績を大幅に上回っていることは、非常に評価することができ、立地条件がよいこの施設の特徴を十分に活かし、施設経営が施されていると感じる。その一方で、自主事業の収益構造は、計画よりも非効率であり、またキャンセル待ちの教室があることも踏まえて、経営上の工夫や改善を図る余地があると判断する。教室事業の収入計画等を見直すとともに、施設の設置目的や業務のミッションを踏まえ、民間事業者が公共施設の経営を執り行う意味について考えてもらいたい。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社ティップネス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82%
達成率		103%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.7%	93.1%	5.6%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	96.7%	88.5%	8.2%

利用状況（多目的）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	74.0%	69.9%	4.1%

利用状況（会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	33.9%	20.8%	13.1%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績-計画）	主な要因
業務代行料	実績	54,345,000	47,103,700	4,318,000	精算金/ダクト工事・空調工事
	計画	50,027,000	47,103,700		
利用料金収入	実績	15,611,710	10,773,165	4,983,950	Vリーグ興行等実施
	計画	10,627,760	10,607,760		
その他収入 （自主事業収入）	実績	28,544,720	18,600,122	9,331,113	教室料金変更等
	計画	19,213,607	19,729,278		
合計	実績	98,501,430	76,476,987	18,633,063	
	計画	79,868,367	77,440,738		

支出		当年度	前年度	差異（実績-計画）	主な要因
人件費	実績	22,232,067	22,941,393	-3,115,570	従業員指導教室分人件費を事業経費に付替え
	計画	25,347,637	25,137,337		
物件費	実績	67,704,216	53,813,542	20,099,702	光熱費高騰 保守点検費等屋内プールと付替え
	計画	46,630,025	39,802,976		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	17,020,439	15,040,593	10,654,223	従業員指導教室分事業経費を人件費より付替え
	計画	7,340,705	11,986,725		
合計	実績	106,956,722	91,795,528	27,638,355	
	計画	79,318,367	76,927,038		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	103.0%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・状況を見ながら不要エリア都度消灯 ・気候の穏やかな季節は自動ドア、窓の開放を行い空調に頼らない ・強制シャワーの水量調整 ・各シャワーブースの水量調節 ・翌日の天候（気温）を確認し空調のON/OFF時間帯指示 ・利用状況に応じた空調電源ON/OFFの実施 ・施設管理担当との定期打合せにてムラ・ムダの検証実施 ・全エリア節水バルブ設置 適切な水量を維持しているか定期点検を実施する。 ・消耗品 最安値商品の購入（注文経路を複数化） ・再生紙利用 ・相見積もり実施最安値で業者決定 ・従業員シフトの重複時間が出来るだけ少ないように効率化 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	C	誤った事業収支報告の提出あり
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	C	著しい会計処理の誤り

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・従業員からご利用者の方々への積極的なお声がけを行い、従業員間で共有して運営に反映する。 ・社内作成の利用者満足度調査アンケートを実施し、ご要望などを運営に反映した。 ・利用者が消毒を気軽に出来るように、諸室用の消毒キットや各所への消毒ブースを設置。 ・小規模な不具合は事務所内パネルで共有し、出来るだけ迅速に対応するように心掛けた。 ・体育場のモップやモップ掃除機を頻繁に清掃し、気持ちよく利用出来るようにした。 ・教室受付方法を簡略化し、申込時のわずらわしさを軽減 ・教室講師との意思疎通をしっかりと図り、出来るだけ満足度の高い教室を実施するように心掛けた。 ・プールサイドでのストレッチや障がい者の着替え用に大判のマットを設置

6 外部専門家意見

<p>施設稼働率と利用料収入が前年度を上回り、また利用料収入についても計画を上回っていることは、評価に値する。またトラブル対応など、業務上の苦勞は絶えないと思うが、地域住民、とりわけ、障がいのある人の利用が促されているなど、ダイバーシティやインクルージョンへの取り組みに力が注がれていることも評価できる。さらに、民間事業者の優位性を象徴するように、自主事業収入が前年度、さらには、計画を大幅に上回っていることは、評価できるものの、収益構造が計画よりも大幅に非効率になっており、人件費の付け替えとはいえ、精緻な計画の立案と経営上の工夫・改善を図る必要があると判断する。</p> <p>最後に、公共施設の経営を民間事業者が執り行うことの意味と責任を重く受け止めてもらいたい。事業報告書は、指定管理者が公の施設の経営を行うに値する事業者であるか否かを判断する重要な資料であり、事業報告書の誤りは、イコール指定管理者に対する信頼を損ねるとともに、施設経営において、作為的な意図があるのではないかという疑念を抱くことにつながる。公共施設の経営を担うという強い責任感をより一層抱いてもらいたい。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	C	本市へ誤った事業収支報告があり、本市から修正を指示し、再提出を行ったことによる。
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	C	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社ティップネス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		91%
達成率		114%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		83%
達成率		104%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	85,447	62,054	23,393
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	35,456	27,631	7,825
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	74,507,509	76,217,000	925,509	精算金/空調工事・QRコード決済
	計画	73,582,000	76,217,000		
利用料金収入	実績	32,735,832	22,955,525	-2,387,988	コロナ影響による利用減
	計画	35,123,820	35,123,820		
その他収入 (自主事業収入)	実績	37,689,366	21,137,606	-24,730,634	子供水泳教室不振
	計画	62,420,000	61,670,000		
合計	実績	144,932,707	120,310,131	-26,193,113	
	計画	171,125,820	173,010,820		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	44,628,264	46,915,185	-11,698,517	従業員指導教室分人件費を事業経費に付替え
	計画	56,326,781	56,026,781		
物件費	実績	97,770,601	57,592,013	-3,888,821	修繕費減と光熱費高騰の差
	計画	101,456,828	88,442,683		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	26,995,968	28,667,019	13,856,351	従業員指導教室分事業経費を人件費より付替え
	計画	13,342,211	28,541,356		
合計	実績	169,394,833	133,174,217	-1,730,987	
	計画	171,125,820	173,010,820		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	114.0%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・状況を見ながら不要エリア都度消灯 ・気候の穏やかな季節は自動ドア、窓の開放を行い空調に頼らない ・強制シャワーの水量調整 ・各シャワーブースの水量調節 ・翌日の天候（気温）を確認し空調のON/OFF時間帯指示 ・利用状況に応じた空調電源ON/OFFの実施 ・施設管理担当との定期打合せにてムラ・ムダの検証実施 ・全エリア節水バルブ設置 適切な水量を維持しているか定期点検を実施する。 ・消耗品 最安値商品の購入（注文経路を複数化） ・再生紙利用 ・相見積もり実施最安値で業者決定 ・従業員シフトの重複時間が出来るだけ少ないように効率化 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	C	誤った事業収支報告の提出あり
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	C	著しい会計処理の誤り

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・従業員からご利用者の方々への積極的なお声がけを行い、従業員間で共有して運営に反映する。 ・社内作成の利用者満足度調査アンケートを実施し、ご要望などを運営に反映した。 ・利用者が消毒を気軽に出来るように、諸室用の消毒キットや各所への消毒ブースを設置。 ・小規模な不具合は事務所内パネルで共有し、出来るだけ迅速に対応するように心掛けた。 ・体育場のモップやモップ掃除機を頻繁に清掃し、気持ちよく利用出来るようにした。 ・教室受付方法を簡略化し、申込時のわずらわしさを軽減 ・教室講師との意思疎通をしっかりと図り、出来るだけ満足度の高い教室を実施するように心掛けた。 ・プールサイドでのストレッチや障がい者の着替え用に大判のマットを設置

6 外部専門家意見

<p>施設稼働率や利用者数は、前年度を上回っており、また利用料収入については、計画は未達であるものの、昨年度よりは大幅な増収であることは、一定、評価することができる。高い利用者満足度を得ている一方で、自主事業収入が大幅に計画を下回っていることは、子どもの水泳教室が不調であったとはいえ、経営ノウハウを有する民間事業者が立案した計画とは考えにくい惨憺たる経営実績であることを重く受け止め、PDCAによる事業改善、またマーケティングの工夫を図ってもらいたい。加えれば、自主事業の収支構造が計画よりも大幅に非効率になっており、人件費の付け替えとはいえ、精緻な計画の立案と経営上の工夫・改善を図り、収支差額が計画を下回るような民間事業者らしからぬ事業実績であることを重く受け止めてもらいたい。市民の日常生活が戻った現在、施設の特異性を踏まえても、次年度の事業実績は、今年度の事業実績を大幅に上回ることを期待したい。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	C	本市へ誤った事業収支報告があり、本市から修正を指示し、再提出を行ったことによる。
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	